

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 143 2013.8.25 連絡先 402-1622 >

なぜ今？ 「残酷さ」から目をそらさせる？

松江市で

被ばく体験を書いた漫画「はだしのゲン」が過激・残虐な描写であるとして、松江市教育委員会が市内の小中学校に対し、学校図書館での子どもへの自由な閲覧や貸し出しを中止するよう求めました。

昨年8月、市議会に「ありもしない日本軍の蛮行が描かれており、子どもたちに間違った歴史認識を植え付ける」として作品の撤去を求める陳情が提出されました。12月議会で全会一致で不採択になりました。

広島で被爆した方は、「漫画は原爆の悲惨な現状をよく伝えている本だ。語り継いでいく必要があるときに見せないことは正しい歴史認識を伝えないことになる。」と声を荒げます。

日本共産党市議団は、「自由に閲覧できるように制限を解除すべきだ」と市教委に求めたいとしています。（しんぶん赤旗8月19日付から抜粋）

「はだしのゲン」を置いているすべての学校で、すでに閉架措置が取られたという報道もあります。

横浜市で

中学校1年生に対し、市が毎年配布する副読本を、13年度版を改訂・12年度版を回収しました。

昨年7月の市議会で、自民党議員が副読本について、関東大震災で自警団などが横浜でも「朝鮮人や中国人を虐殺した」と記載していることを問題にし、改訂・回収を求めました。山田巧教育長尾（当時）は「虐殺という言葉は非常に強い」として、改訂・回収すると答弁しました。その答弁を受けて12年度版副読本を回収。13年度版では「虐殺」の文字を「殺害」に改め、1年生に配布しました。

党市議団は、「生徒に回収を求めることは、学校への信頼を損ね、教育委員会や教師への不安を増長することになる」。13年度版の記述の改訂について「一部の政治勢力に屈したものだ」と批判。「関東大震災の記述については、外部の専門家を入れた検討委員会で検討することを求めました。

（しんぶん赤旗8月15日付から抜粋）

みち子のひとりごと カギはどこに？

活動のために車で集合場所へ。まだ時間はあるのにみんな来てる！気は焦ります。

目的を終え戻る途中、車のカギは？と思つてカバンを探すも見つからず。カギをどこにしまったかな？と思いだそうとしても思ひだせず。あれ？途中で落としかも？メンバーに話すと、先に車に戻る組と今来た道を引き返す組に分かれて探してくれました。来た道に戻つて探していると電話が入り、「カギあつたよ！」。「車の助手席に」。なんと！カギも閉めず、見えるところに置いたまま車を離れていたなんて…。どこに入れたか記憶もないはずですが、しまったなかつたんですから。妙な納得をして車へ戻り、「焦ってたんだよねー」と言い訳しながら改めて鍵を閉めて…。

暑さのせいにもできないこの事態。気をつけなくては。その次メンバーに会った時、「カギは大丈夫？」としつかり確認されました。



実現しました！



子どもたちを毎日見守っている方から、子どもたちの危ない場面を何回も見ていて、何とかならないかというお話がありました。

自治会長さんや担当課と相談し、道路に「スピードおとせ」の警告文字を描いてもらいました。



でこぼこの道を何とかして、溝の草がぼうぼうで水が流れず困っているとの相談に、自治会長さんと担当課と相談し、補修と草刈りができました。



ダニにご注意！

袋入りのお好み焼き粉は、たいてい一回では使いきれず、残った粉は戸棚で保存してしまいました。しかし最近、常温で保存すると中にダニが入りこみ、粉の中で大量に繁殖する：という話を聞いて思わずゾツとしました。体長が0・4ミリ程度と非常に小さいダニは、開封後の粉製品の袋にわずかな隙間さえあれば侵入し、一ヶ月後には爆発的に増えていくそうです。小麦粉やホツトケーキミックスも要注意です。心配なのはダニが大量に発生した粉を使った料理を食べると、呼吸困難やじんましんなどのアレルギーを起こす人がでていること。重症の場合は、全身に強いアレルギー反応が出るアナフィラ

キシシーショックを起こすこともあるようです。ある患者は呼吸が困難になり、じんましんが全身に出て病院に運ばれました。使ったお好み焼き粉を調べると1グラムあたり約1万8000匹ものダニが見つかったそうです。担当した医師に画像を見せてもらうと、粉の中をダニが動き回っている様子がはつきりと見えました。予防のためには開封後は早めに使いきること。「粉製品は常温で保存」と思いがちですが、ダニは低温では繁殖しないため、残った場合は冷蔵庫で保存すべきだと専門家は言います。みなさんの家庭の戸棚には、開封済みの粉製品が残ってはいませんか？

(8・19潮流より)

